

《令和3年度 まちづくり協働部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者  
部長 岡田 芳治

**主** 令和3年度当初予算概要「主な事業の概要」に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>・行政や地域を取巻く環境が大きく変貌してきており、市民と行政の適切な役割分担のもと自助、共助、公助による、協働のまちづくりが求められています。</p> <p>・地域課題が複雑・多様化する中、これまで地域で活動してきた社会教育団体等の活動が縮小し、地域のつながりや支え合いの希薄化等による地域社会の教育力の低下が危惧されています。</p> <p>・区域を代表する総合的な自治組織であるまちづくり協議会が中心となり、地域まちづくりセンター等を活用し、様々なまちづくり活動が展開されています。今後、地域の主体的な意思決定による更なる市民自治の成熟化と市民自治の仕組みの充実を図っていく必要があります。</p>	<p>① ① ① ①</p> <p>・まちづくり協議会や基礎的コミュニティである町内会、市民公益活動団体、教育機関、中間支援組織等の多様な主体との連携・協力による「協働のまちづくり」を推進します。</p> <p>① NPO、企業、行政、学校等、様々な主体と地域住民で連携し、地域を支える人材育成を図るとともに、地域社会の教育力向上を図ります。</p> <p>・まちづくり協議会による、市民自治の成熟化と地域の特色を生かしたまちづくりの展開、地域まちづくりセンターの積極的な活用を目指し、まちづくり協議会の運営や活動を総合的に支援します。</p>	<p>① 【取組】 協働のまちづくり条例に基づき策定した「第2次草津市協働のまちづくり推進計画」に沿って事業を推進します。(事業費 2,021千円) ※草津市協働のまちづくり推進本部会議関連事項</p> <p>【成果目標】 協働のまちづくり推進計画の進捗管理を実施します。</p> <p>② 【取組】 地域を支える人材育成を行うとともに、地域住民と市内の学校との連携を推進することで、地域社会における教育力を高めます。(事業費) ・地域協働型キャリア教育推進事業費 656千円</p> <p>【成果目標】 市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合 令和3年度 23% (令和2年度 17.3%)</p> <p>③ 【取組】 まちづくり協議会を中心とした、地域主体の特色あるまちづくりの推進を図るため、その活動や運営を総合的に支援します。(事業費) ・地域まちづくり一括交付金 96,773千円 ・地域課題解決応援交付金 15,030千円</p> <p>【成果目標】 市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合 令和3年度 23% (令和2年度 17.3%)</p>	<p>① 【取組実績】 「第2次草津市協働のまちづくり推進計画」に基づき、市民総合交流センターにおいてラウンドテーブルを年間5回開催するなど、様々な主体がつながる場を設け、協働のまちづくりに向けた取組を進めました。また、協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会において計画の進捗管理を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会を1回開催し、協働のまちづくり推進計画に基づく事業の進捗管理を行いました。</p> <p><b>主</b> ② 【取組実績】 子どもの教育を切り口とした地域づくりについての講演会を開催し、意欲のある地域住民を具体的な活動につなげるきっかけづくりを行いました。また、講演会の参加者の中から、NPO法人キーパーソン21が保有する「夢！自分！発見プログラム」が実践できる人材を養成し、市内の中学校で授業を行うことで、座学だけでなく、実践を交えた人材育成を行うことができました。</p> <p>【成果目標実績】 市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合 令和3年度 20.9%</p> <p>③ 【取組実績】 まちづくり協議会の活動や運営に対し、財政的な支援や助言など総合的に支援しました。長期にわたるコロナ感染症のまん延により、事業の中止や縮小を余儀なくされたものの、交付金の弾力的な運用により、各地域で工夫した取組が展開されました。(事業費) ・地域まちづくり一括交付金 91,077千円 ・地域課題解決応援交付金 9,350千円</p> <p>【成果目標実績】 市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合 令和3年度 20.9%</p>
<p>2 住民の価値観の多様化や世帯構造の変化等により地域コミュニティに対する関心や関わりが希薄化しています。 また、一方で町内会役員の高齢化や町内会役員のなり手不足が問題となっており、適切な組織体制や行政からの依頼事項(全戸配布や回覧、協力依頼等)の見直しが必要となっています。</p>	<p>② ②</p> <p>住みやすいまちを築くため、町内会を中心とした顔の見える地域社会の形成を図ります。</p>	<p>④ 【取組】 町内会の加入促進、活動の活性化、担い手の確保や組織、事業運営等の諸課題について地域と共有し、町内会の取り組みに対して必要な支援を行うとともに、市から町内会への依頼事項の適正化を継続して進めます。</p> <p>【成果目標】 地域の組織やグループに加入している市民の割合 令和3年度 38.6% (令和2年度 35.5%)</p>	<p>④ 【取組実績】 町内会運営や活動に対し財政的な支援を行ったほか、運営等に対する助言を随時行いました。また、「町内会長戸別訪問事業」や「集合住宅意見交換会」を実施するなど、地域の困りごとや地域ニーズの把握に努めました。</p> <p>【成果目標実績】 地域の組織やグループに加入している市民の割合 令和3年度 34.4%</p>
<p>3 地域まちづくりセンターの一部については、建築後相当年数が経過し、施設自体の老朽化が進んでいるため順次改築する必要があります。</p>	<p>③ ③</p> <p>志津まちづくりセンターの改築工事を完了し、令和4年度以降の整備計画を整理します。</p>	<p>⑤ 【取組】 志津まちづくりセンターの改築工事を継続して実施するとともに、令和4年度以降の整備計画の調整を進めます。</p> <p>【成果目標】 志津まちづくりセンターの改築工事の完了および令和4年度以降の整備計画を作成します。</p>	<p>⑤ 【取組実績】 志津まちづくりセンターの改築工事を当初計画どおり完了しました。また、令和4年度以降の地域まちづくりセンターの整備方針を定めました。</p> <p>【成果目標実績】 志津まちづくりセンター改築工事を完了およびセンター整備方針策定</p>
<p>4 『市民公益活動の推進』 ・少子高齢化の進展や世帯構造が変化の中で、福祉や災害時の高齢者支援など、行政だけ、市民だけでは解決できない地域課題が増大しています。 ・地域課題を他人任せせず、地域住民が支えあい、多様な主体が協働し、安心して暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向け、市民公益活動を推進します。</p>	<p>④ ④</p> <p>市民公益活動を推進するため、第6次草津市総合計画第1期基本計画および第2次草津市協働のまちづくり推進計画に基づき、本市の中間支援組織として指定した(公財)草津市コミュニティ事業団等と連携し、市民公益活動団体への各種支援策の充実に向けて取り組みます。</p>	<p>⑥ 【取組】 市民公益活動団体を支援する補助金制度、講座、交流イベント等を展開する(公財)草津市コミュニティ事業団の活動を支援します。(事業費) (公財)草津市コミュニティ事業団運営費補助金 67,865千円 (うち事業費補助金 3,248千円)</p> <p>【成果目標】 市民活動等の団体数 令和3年度 290団体 (令和2年度 277団体)</p>	<p>⑥ 【取組実績】 中間支援組織である(公財)草津市コミュニティ事業団のあり方の検討を行い、テーマ型と地縁型、双方の市民活動への支援を行いながら地域コミュニティの振興を図るという目標を市と事業団で共有しました。また、市が補助する事業団の各種事業についても、上記の目標を踏まえ、地域まちづくりセンター職員や立命館大学の学生等の参画を促し、多様な主体が協働する仕掛けづくりを行いました。</p> <p>【成果目標実績】 市民活動等の団体数 令和3年度 271団体</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>5 令和3年5月に供用を開始する市民総合交流センターについて、本市の新たな市民活動・交流の拠点として、各入居団体が連携し、多様な活動の展開を支援する必要があります。</p>	<p>⑤ 市民総合交流センターにおいて、市民と行政が、互いに交流・協働することにより、社会的、公益的なまちづくり活動を推進するとともに、各入居団体の連携を図り、多様な市民活動の展開を支援します。</p>	<p>⑦ 【取組】 指定管理者による管理運営を行いながら、複合施設の強みを生かすため、各入居団体が構成する入居者会議を定期的に開催し、施設全体に関わる課題等について協議し、また入居団体同士の連携を図ることで、多様な市民活動のさらなる展開を目指します。 (事業費) 市民総合交流センター管理運営費 83,307千円 ※草津市都市再生本部会議関連事項</p> <p>【成果目標】 市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合 令和3年度 23% (令和2年度 17.3%)</p>	<p><b>主</b></p> <p>⑦ 【取組実績】 全入居者を対象とした入居者会議を年間9回開催し、施設利用に関する各種課題を協議しながら入居団体同士の顔の見える関係づくりを行いました。その結果、男女共同参画センターと社会福祉協議会の連携事業など、入居団体同士が協力する取組事例が生まれました。</p> <p>【成果目標実績】 市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合 令和3年度 20.9%</p>
<p>6 国では令和4年度末までにほとんどの国民がマイナンバーカードを取得することを目指しています。昨年にマイキーIDを利用したポイント還元が開始され、今後は運転免許証や健康保険証の一体化が予定されるなど、さらなる利用の拡大が見込まれます。草津市でも、住民票などの諸証明のコンビニ交付やマイナポータルを活用した子育てワンストップサービスの電子申請の導入など、市民生活の様々な場面でマイナンバーカードを活用できるよう取組を進めており、マイナンバーカードの普及促進とともに、交付数の増加に対応できる体制の見直しを進める必要があります。</p>	<p>⑥ マイナンバーカードを活用した市や国の施策の内容とともに、カードの利便性を周知します。また、国の想定とする発行枚数に合わせ、本市においてもカードの交付枚数の増加に対応できるよう、体制強化に取り組みます。</p>	<p>⑧ 【取組】 マイナンバーカードの利便性を周知し、交付者数の増加およびコンビニエンスストア等を利用したマイナンバーカードでの諸証明の発行件数を増やします。</p> <p>【成果目標】 ・交付者数 30,000人 ・証明書発行件数に占めるコンビニ交付の割合 20%</p> <p>⑨ 【取組】 マイナンバーカードの交付数の増加のため、カード交付予約システムの導入や交付端末の増設を行うとともに、業務のアウトソーシングに向けた検討を行います。</p> <p>【成果目標】 カード交付予約システムは6月に導入し、交付端末を10月に増設することにより、カードの交付を円滑に行います。</p>	<p>⑧ 【取組実績】 市役所等での申請受付ひろばの開催や市HP上YouTubeによる周知・啓発を行いました。また、運転免許センターや税務署と連携をした申請受付ひろばや啓発イベントも新たに開催し、交付者数の増加に努めました。 ・申請受付ひろばの開催 市役所 2,573人 地域まちづくりセンター 268人 大型商業施設・運転免許センター・税務署 101人 企業 14人</p> <p>【成果目標実績】 ・交付者数 22,858人(内、更新者数3,348人) ・証明書発行件数に占めるコンビニ交付の割合 22.1%</p> <p>⑨ 【取組実績】 カード交付予約システムの導入とカード交付端末の増設を行い、待ち時間の解消および円滑な交付業務の執行に努めました。業務のアウトソーシングについては、検討した結果、予約システムの稼働等により交付者数の増加への対応を図りました。</p> <p>【成果目標実績】 ・カード交付予約システムの導入6月 稼働7月 ・カード交付端末の増設(2台増設)10月</p>
<p>7 高齢者や障害者、若年者等の契約弱者に対する悪質商法が増加しており、市内においてもこれらに起因する被害が発生しています。</p>	<p>⑦ 商品やサービスの多様化に伴い、悪質商法の手口が巧妙化していることから、相談の実施と併せて被害の防止に努めます。</p>	<p>⑩ 【取組】 消費生活に関する相談に対応するとともに、被害の防止に向けた消費者教育や啓発を行います。</p> <p>【成果目標】 広報誌や啓発資料等の情報提供、出前講座等における啓発を実施します。(20回程度)</p>	<p>⑩ 【取組実績】 消費生活に関する相談に対応するとともに、被害の防止に向けた消費者教育や啓発を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 「広報くさつ」記事掲載による情報提供や出前講座等による啓発を実施しました。実施回数：広報記事掲載5回、町内回覧2回、メール配信25回、出前講座・イベント17回</p>
<p>8 市営火葬場の老朽化、並びに今後の火葬需要の見込みから、早期に新たな施設を整備する必要があります。</p>	<p>⑧ 栗東市との広域連携による新火葬場整備について、計画的に事業を進めます。 栗東市と連携し、栗東市内での用地取得に向けた諸調整を行うとともに、施設整備に向けた基本計画の策定や、PFI導入可能性調査を実施します。 合わせて、事業推進および整備後の運営管理を行うための組織体制として、草津市および栗東市で構成する一部事務組合を設立します。</p>	<p>⑪ 【取組】 栗東市と連携し、新火葬場整備事業を推進するため、用地取得に向けた諸調整を行うとともに、施設整備に向けた基本計画の策定やPFI導入可能性調査に取り組みます。</p> <p>【成果目標】 ・栗東市内での用地取得に向けた諸調整への協力・支援を行います。 ・火葬場整備基本計画の策定や各種調査業務の実施への協力・支援を行います。</p> <p>⑫ 【取組】 新火葬場の整備推進等のための組織体制として、草津市・栗東市で構成する一部事務組合を設立します。</p> <p>【成果目標】 一部事務組合を設立します。</p>	<p><b>主</b></p> <p>⑪ 【取組実績】 栗東市と連携して用地取得に向けた諸調整を行いました。また、地元や地権者調整等の状況を踏まえてスケジュールを見直す必要が生じたため、基本計画の策定や調査業務等に要する予算は令和4年度に繰越し、関係業務の実施が可能となった場合に速やかに対応できるよう調整を図りました。</p> <p>【成果目標実績】 ・用地取得に向けた取り組みに協力・支援を行いました。 ・基本計画の策定や調査業務等の実施スケジュールを変更する必要が生じたため、栗東市と連携して対応を調整しました。</p> <p><b>主</b></p> <p>⑫ 【取組実績】 地元や地権者調整等の状況を踏まえてスケジュールを見直す必要が生じたため、一部事務組合の設立時期を変更しました。</p> <p>【成果目標実績】 一部事務組合の設立を令和4年4月から10月に変更しました。</p>